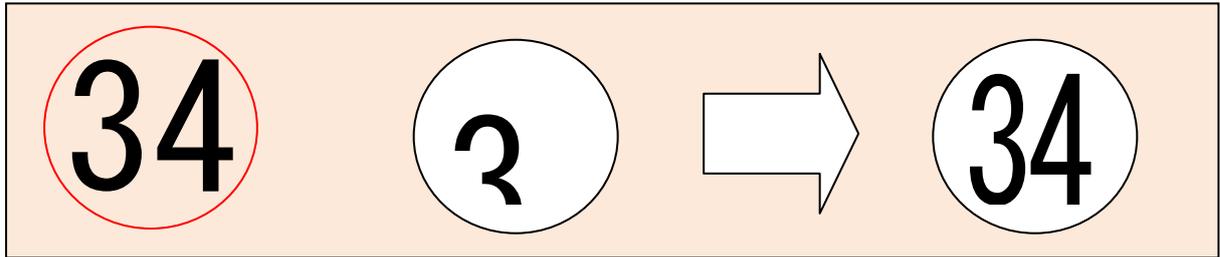
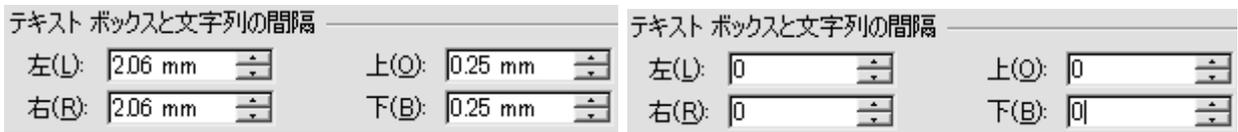
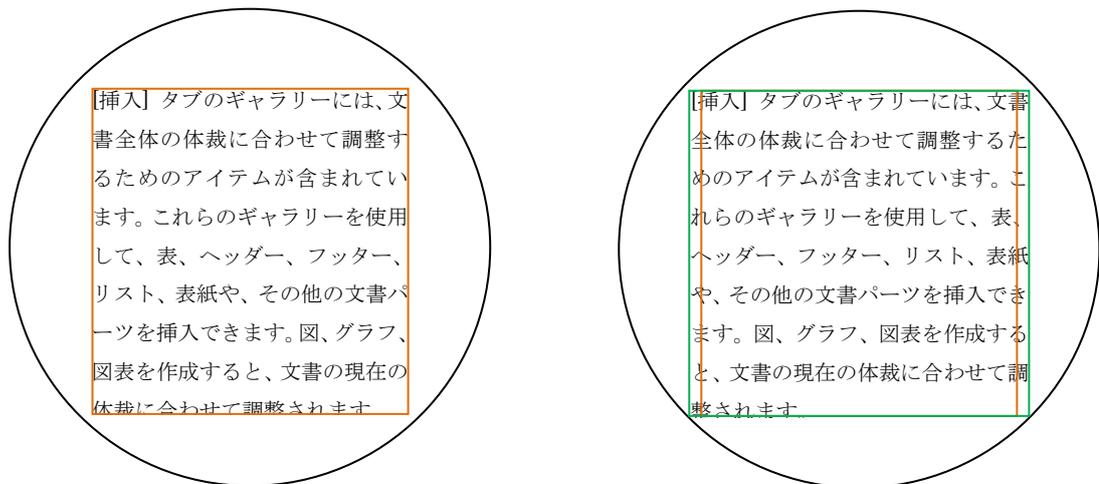


円の中に最大限に大きいサイズの数字（仮に 34）を入れる方法を検証する。



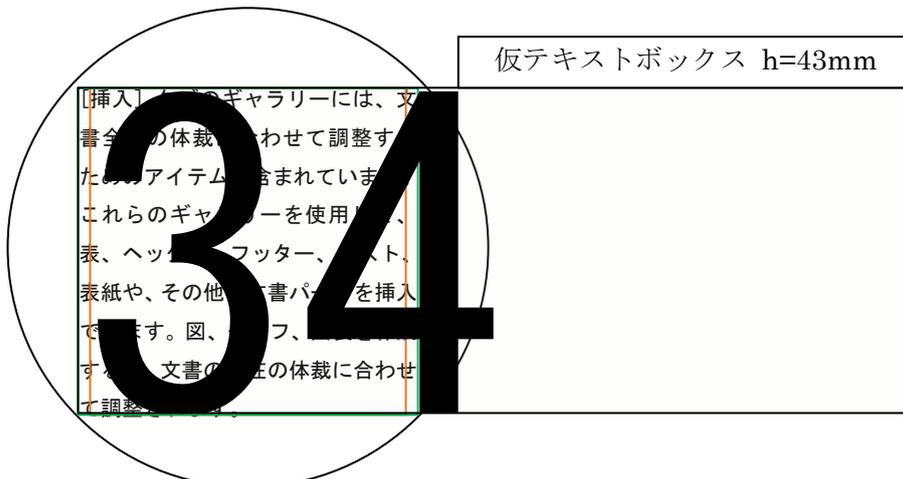
1. 円内の「テキスト入力範囲を知り、少しでも広げる



※ 茶色の枠よりも左右にすこし広がっている（緑の枠を参照）

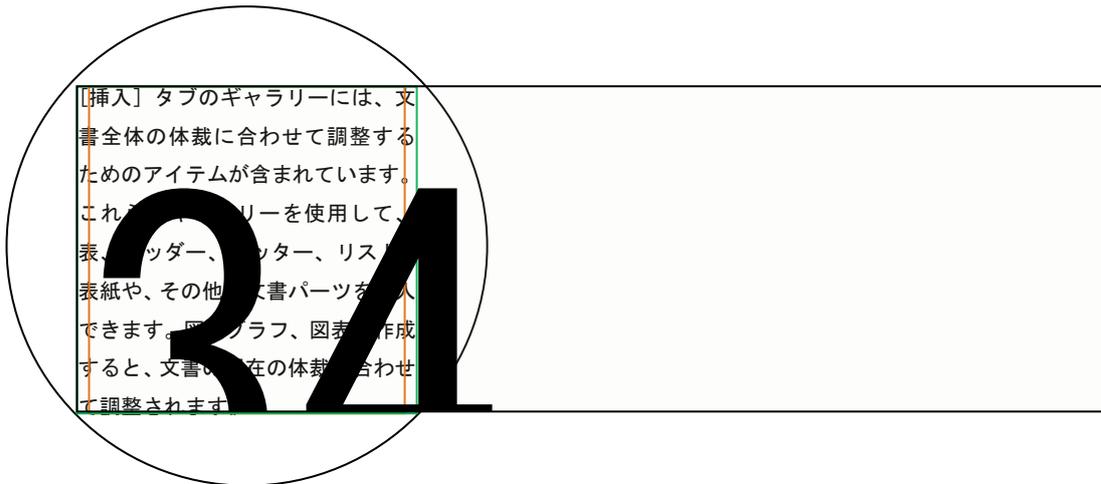
この赤又は緑の枠の高さより小さいサイズの文字が円に挿入できることになる。今回の場合、縦の高さ 43mm に対して、最大 160pt（ゴシック体にて）の文字が挿入可能とわかる。実際に円内に数字を挿入する方法のポイントは

- ・段落の行間を調整して文字の上下の余白をなくす。
- ・フォントの詳細設定で文字位置を上下させて枠内に入れる。

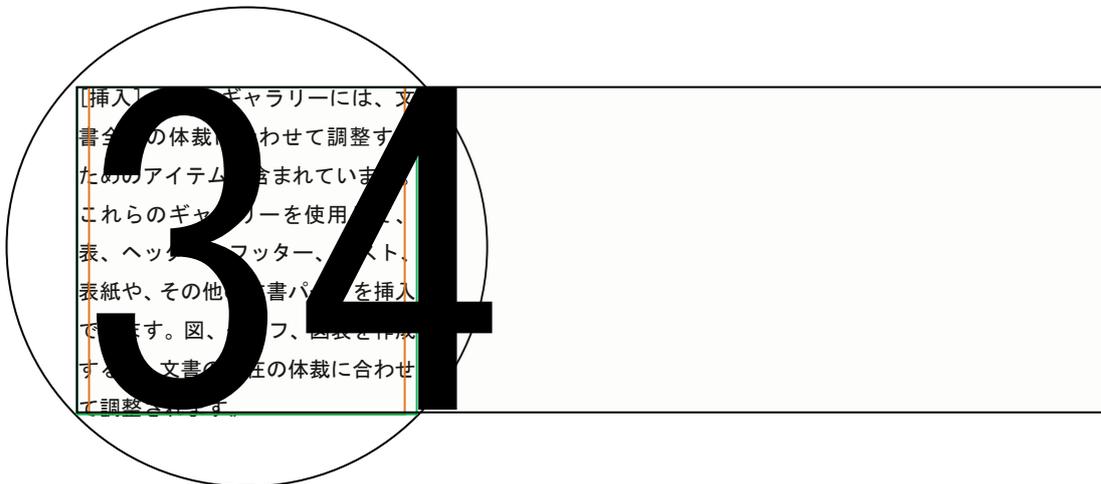


2. 縦方向の文字位置調整

1) テキストボックス内に 34 (半角) を書く

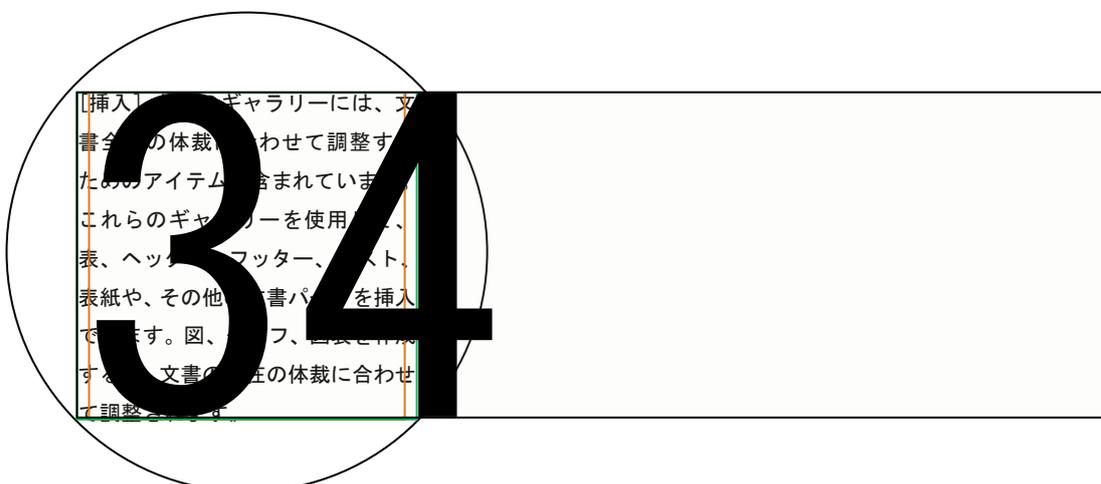


2) 段落ダイアログの行間設定で「固定値 120pt」に設定し、
フォントダイアログで「詳細設定」⇒「文字位置」を 26pt 下降させました。



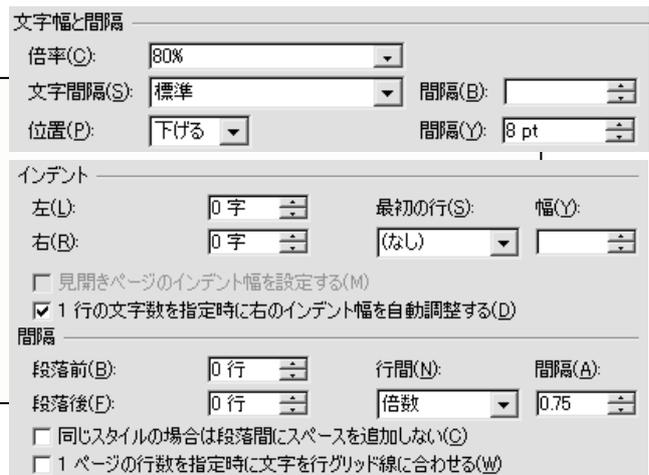
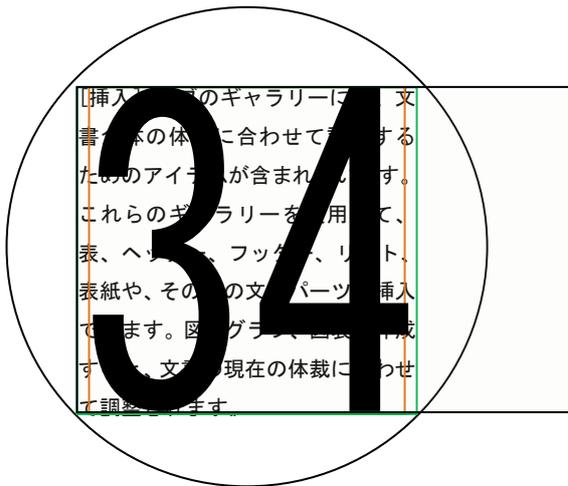
※縦方向に関してはテキストボックスの枠内にきちんと配置されている。

参考：方法は幾通りもあり、行間で「倍数：0.75」、フォント位置「8pt 下昇」でも同じ結果が出ます。



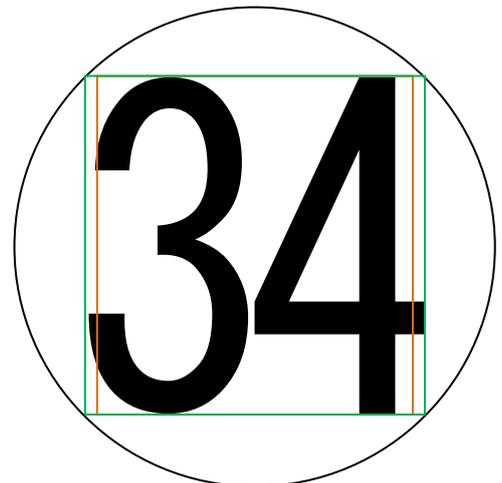
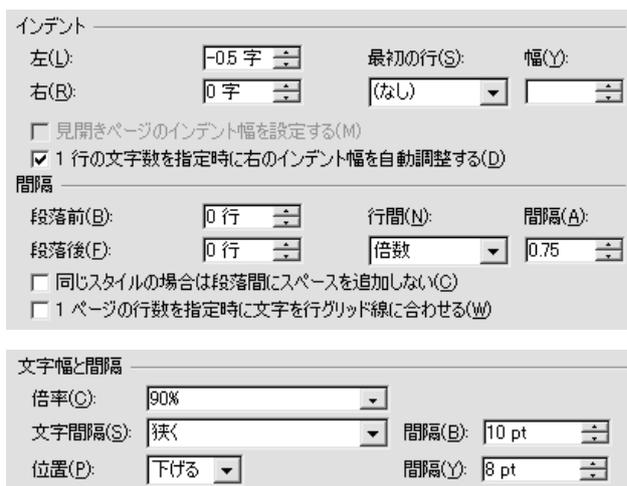
3. 次は横方向の調整「文字と文字間」

ここではフォントダイアログの「詳細設定」画面で、「倍率」と「文字間隔」を使います。



※倍率=80%、文字間隔=標準に設定しました。数字が細長くなり緑枠内に収まりました。

倍率を 90%にするとすこし手間が増えます。



※倍率=90%の場合は、文字間隔=10pt 狭くの設定をした後にインデント-0.5が必要です。

参考：キャンバスに入れて、「描画のサイズ変更」を行えば自由な大きさの円内文字が作成できる。
その場合、「図」画像としてキャンバスにコピーする方法を推奨する。

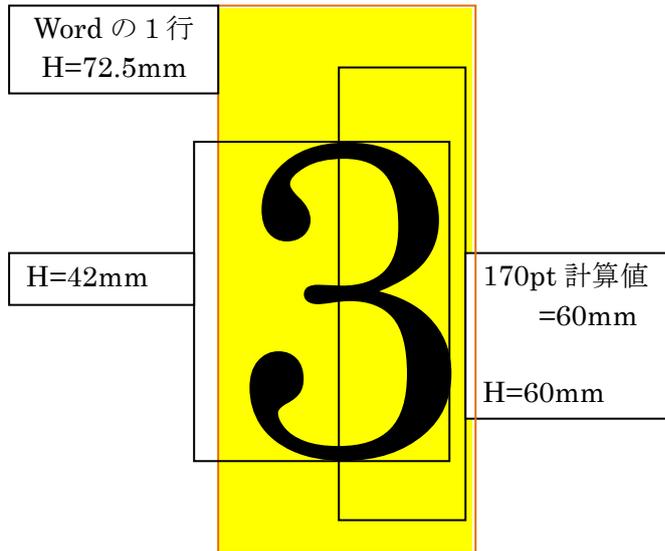


※ 小サイズの連番を作るようなときは「元の書式を保持」で貼り付ける
この場合は縮小した段階で文字位置や文字間隔の再設定が必要です。

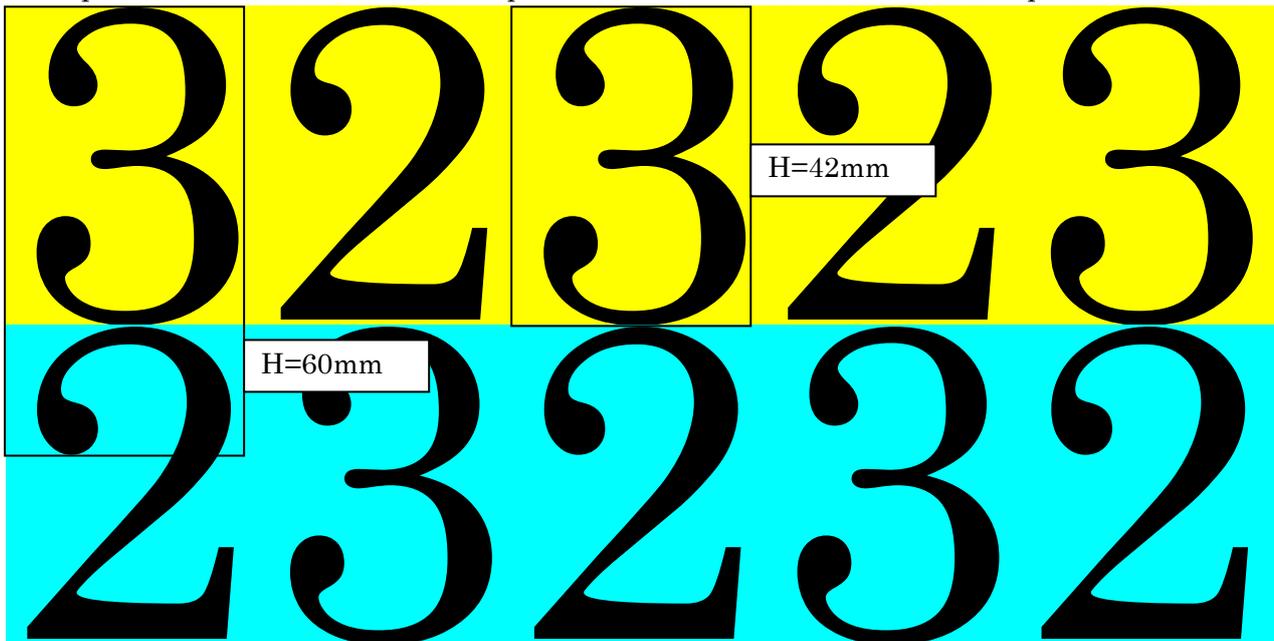
5. そもそも・・・ワードでの文字の占有エリアを知る

170pt (60mm 相当) の文字を例にとると、

- ・文字自体はすでに上下に余白を持っている
- ・グリッド線に合せないフリーの状態では 170pt の文字を描くと、さらに上下に余裕が付く。



170pt の文字を行間設定 : 固定値 120pt (42mm 相当) で表し、文字位置を 22pt 下げて表示すると



行間に隙間がない状態になる。・・・文字が欠けない限界。

例 : 固定値 10.5 での通常文

[挿入] タブのギャラリーには 3232 文書全体の挿入、表、ヘッ、フ、3232 図表を作成す

まだ上下に余白が存在する

